

第1章 はじめに

1 背景と策定の趣旨

福井県では、平成16年1月に策定した「道路の将来ビジョン」に基づき、着実に道路整備を進めてきました。この間、舞鶴若狭自動車道の全線開通や中部縦貫自動車道永平寺大野道路の開通など高規格幹線道路の整備進捗、橋梁など道路施設の老朽化の進展など、道路をとりまく状況が大きく変化しており、中長期的な道路整備のあり方を見直す時期に来ています。

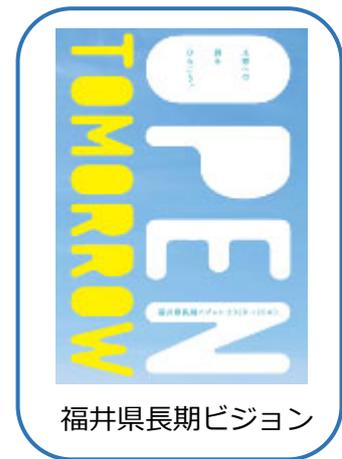
また、令和2年7月には「福井県長期ビジョン」が策定され、2040年を目標年次として、人口減少・超高齢化社会への突入や経済のグローバル化が進む中、北陸新幹線など高速交通体系の完成を最大限に活かし、福井県がさらに発展していくための将来像が提示されています。

このような状況を踏まえ、「福井県長期ビジョン」に示された将来像の実現に向けて、目標年次を2040年とし、中長期的な道路整備の基本方針や道づくりの進め方を示す「福井県 道路の将来ビジョン」を策定しました。

2 福井県の将来像

福井県では、今後想定される社会環境の変化に対応し、県民の皆さんと将来像を共有して福井県のさらなる発展に向けて行動していくため、令和2年7月に「福井県長期ビジョン」を策定しました。

この「福井県長期ビジョン」では、長い歴史の中で先人たちが培ってきた「安心と信頼」の福井を、みんなで守り、次世代に引き継ぎ、さらに、その安定した社会基盤をもとに、誰もが夢や希望をもって自分らしくチャレンジでき、相互に応援し合う、もっとワクワク・ドキドキする「おもしろい！」福井を目指すこととしており、基本理念として『「安心のふくい」を未来につなぎ、もっと挑戦！もっとおもしろく！』が掲げられています。

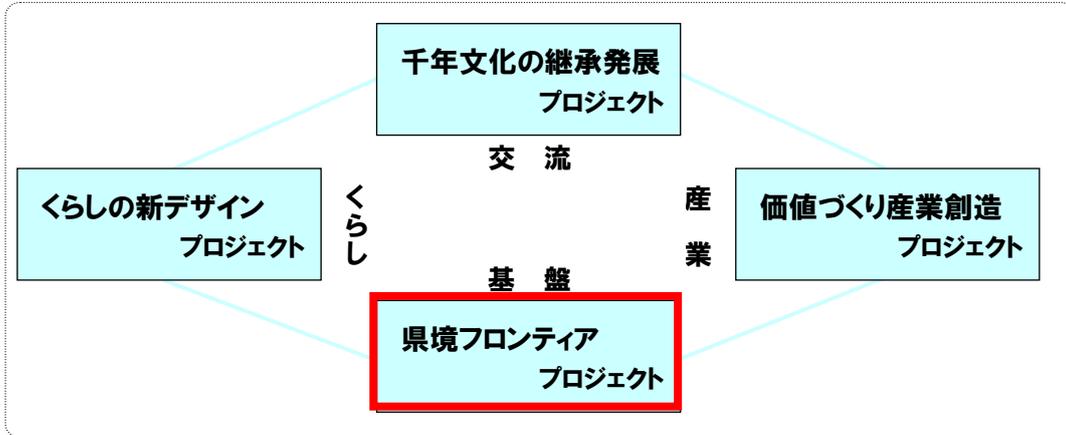


そして、〔2040年に福井県が目指す姿〕として、『自信と誇りのふくい』『誰もが主役のふくい』『飛躍するふくい』が掲げられています。特に『飛躍するふくい』においては、交通体系の進展や技術革新を活かして、産業の新たな可能性を拓く、創造的で活力ある“ふくい”を目指し、交流拡大や新技術により、経済・社会の仕組みが大きく変わる可能性があり、こうしたチャンスを最大限に活かし、新時代の産業基盤を確固たるものにするとともに、くらしの質を高め、活力に満ちた地域をつくることとしています。

さらに、〔2040年に向けた長期プロジェクト〕として、『県境フロンティア』『千年文化の継承発展』『くらしの新デザイン』『価値づくりの産業創造』が掲げられています。

『県境フロンティア』においては、東西南北に開く高速交通・物流ネットワークの整備を加速し、新時代の交流・くらし・産業の基盤づくりや歴史・文化やオンリーワンの魅力に磨きをかけ、「交流」と「楽しさ」を大きく広げる取組、安全で安心して暮らせる住みやすい地域づくり、最新技術を有する企業の誘致など、新たな価値を生み出す産業づくりを推進することとしています。

〔2040年に向けた長期プロジェクト〕



〔2040年の高速交通インフラ〕

